

静かな冬の干潟

■ 渡り鳥の来訪はこれからか

水温の低下とともに魚類は深場へ移動し、カニ等は石の下や泥中で越冬に入った。冬鳥の来訪も少なく、蒲生干潟は静かなたたずまいを見せている。サギ、シギの仲間が餌を探す姿が見られるが、冬越しに来る鳥類はこれから増えてくるのではないかと思われる。多くの鳥類で冬の干潟がにぎわうことを期待している。



Fig.1 アオサギ
 とまっている木は、震災前多くのサギが観察されたものである（レポートNo.1参照）



Fig.2 ホシハジロ



Fig.3 ハシビロガモ オス



Fig.5 河口域の群れ ウミネコ ユリカモメ マガモ ヒドリガモ

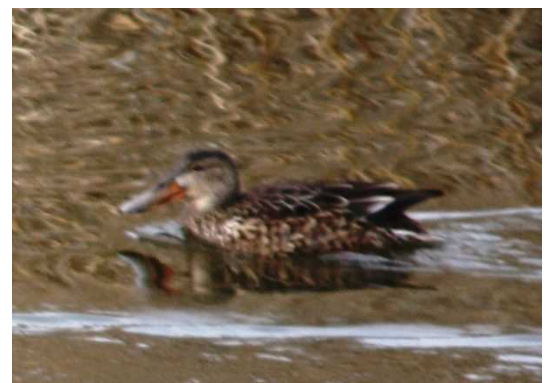


Fig.4 ハシビロガモ メス